

令和3年度
(2021年度)

市駅周辺等まち活性化部の取り組み

＜部長の方針・考え方＞

- ①地域資源を生かした魅力あふれる拠点づくりの推進
- ②枚方市駅周辺再整備に向けた機運の醸成
- ③国・府をはじめ事業者など様々な関係者との連携、協力
- ④議会や市民への丁寧な情報共有

＜部の構成＞

市駅周辺等まち活性化部

＜主な担当事務＞

- (1)枚方市駅周辺の再整備に係る企画、立案、調整及び実施に関すること
- (2)枚方市駅周辺の再整備等に係るエリアマネジメントに関すること
- (3)香里ヶ丘中央公園及び枚方市立香里ヶ丘図書館の周辺の整備に係る調整に関すること

具体的な取り組み：枚方市駅周辺再整備の推進（③街区を除く）

枚方市駅周辺再整備については、枚方市駅周辺再整備ビジョンの実現に向けて、自然や歴史文化といった多くの地域資源を生かしながら広域都市圏の中心的な機能を集積する広域中心拠点を目指し、令和3年3月に策定した枚方市駅周辺再整備基本計画に基づき取り組みを進めていきます。

具体的には、④⑤街区のまちづくりでは、基本計画で示す土地利用のイメージを基に、本市の魅力を高めていくための機能や施設などについて、議会や市民の意見を聴取しながら新たな都市機能の誘導に向けて取り組みを進めます。併せて、国・府・市有財産の最適利用のまちづくりを目指し、国・大阪府と更に情報の共有を図るとともに、権利者との勉強会を行うなど、まちづくりの具体化に向けた機運の醸成に努めます。これらの取り組みを進めながら、④⑤街区における土地区画整理事業の実施に向けた具体的な事業計画の検討を行います。

②街区のまちづくりについては、引き続き権利者と意見交換を行っていきます。

また、持続的に魅力が高まるまちづくりに向けて、まちづくりの活動に関わる人を増やし、愛着や多様な連携が生まれることで、主体的に活動を行うエリアマネジメントの仕組みの導入を促進します。



(図) ④⑤街区の土地利用のイメージ

具体的な取り組み：③街区における枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業の推進

③街区のまちづくりは、他の街区に先駆け駅前交通広場及び区画道路等の公共施設の整備による交通結節点機能の強化と合わせて、土地の高度利用による多様な都市機能の集積と都市居住の誘導を図るとともに、歩行者回遊動線の形成、防災機能の強化に向け、権利者主体の市街地再開発事業として実施しており、令和5年度以降に建物等工事の順次完了を目指しています。

令和3年度は、市街地再開発組合が予定している既存施設の解体・建築工事が順次実施できるよう、引き続き、国、大阪府と連携して補助金や技術的支援を行います。

具体的な取り組み：新庁舎整備に向けた検討

新庁舎整備については、令和3年3月に策定した枚方市新庁舎整備基本構想を基に、⑤街区での安全・安心の拠点の実現に向けて、国との合同庁舎化や枚方消防署の老朽化対策を枚方寝屋川消防組合と連携しながら検討を進めるとともに、ICTを積極的に活用することで、ワンストップ化が図れる総合窓口の検討やよりコンパクトな新庁舎を目指して検討を進めます。

③街区での行政サービス再編については、枚方市駅周辺の魅力や行政サービスの質、市民の安全性・利便性の向上を図るため、市街地再開発組合と連携を図りながら、内装設計を実施します。

具体的な取り組み：香里ヶ丘地域のまちづくり

香里ヶ丘地域のまち全体がさらに魅力あるまちへと発展していくため、子育て環境の充実や高齢者の暮らしやすいまちづくりを目指し、包括連携協定を締結しているUR都市機構や関係部署等と連携し取り組みを進めます。